

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年8月22日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年8月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機圧力抑制室内滞留ガスパーズ作業における水素濃度計の作業管理用アラーム値到達について】 当社社員が、3号機圧力抑制室内滞留ガスパーズ作業中に、ガスパーズ設備付近に設置してある水素濃度計の指示値が、作業管理用のアラーム値(100ppm=0.01%)に到達したことを確認。 速やかに手順に従い、ガスパーズ設備の上流側の元弁を閉止し、ガスパーズ作業を停止したところ、ガスパーズ設備付近に設置してある水素濃度指示値が0ppmまで低下したことを確認。 なお、ガスパーズ設備付近における確認できている水素濃度指示値の最大値は、104ppmであり、可燃限界(4万ppm=4%)に比べて、十分低い(約1/400)ことを確認済。 今後、水素濃度指示値が作業管理用アラーム値に到達した原因調査を実施予定。</p>	GⅢ	8月20日